

# HDM推進会（第9回）／ごみゼロネット推進会（第31回）議事録

開催日： 2010年(H22年)11月8日(月)10:00～12:00

場所：ウエスト

出席者：野見山議員、片山議員、大橋、杉本、平林、加藤、加賀谷、川村、斉藤、藤原、桐生（作成）

議題：

## 1. 水戸市テントハウス型HDM施設見学報告（大橋、加藤、加賀谷）

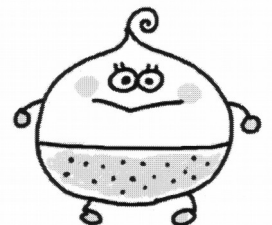
- 小金井市からは深澤B、鈴木 KH、推進会からは大橋、加藤、加賀谷、杉本、多田の5名、それにフォレスト社竹井、エンドウテント社遠藤Pが案内者として加わった。
- 近づくにつれ強い臭気を感じた。ここでは1ト/日の菌床で10ト/日、産業廃棄物である馬鈴薯の皮や余剰汚泥を処理している。1日での減容率70%という。臭気があるとはいえ、10倍の過負荷運転が可能である事実が非常に参考になった。（大橋）
- 4基のリングブロワーを運転している。脱臭装置はロックウールフィルターに撒水し、その中を排気を通すスクラバー方式で、水は循環させている。建屋の構造上、言い訳程度の効果しかない。菌床は木質廃材をcm程度に切断した大きいもので、木材チップでは直ぐに消耗するために、このような大きな菌床にし（加藤）
- 資料「HDM処理施設テント見学概要」配布（加藤）：当該テントハウスは間口10m、奥行24m、高さ5.7m。0.6mmの不織布にアクリル加工で防炎仕様。支柱にキャスターを取り付け移動可能として、建築確認を要しない。24色有り、アイボリーホワイト色が最も採光性がよい。グレーは殆ど光を通さない。テントの裾を地中に埋めて気密性を保持できる。工事費を含んで500万円。（加藤、大橋、加賀谷）
- 現場で問うたが、市側のプロジェクトチーム担当者はまだ決めていない。当会側は大橋氏と決定済み。

## 2. 周辺住民への説明会（加藤）

11/7町内会（中町親愛会）合同役員会で加藤氏が市庁舎問題とHDM実証試験について説明した。市庁舎建設予定地がジャノメ跡地と決まって、住民は気を良くしている。HDM実証試験についての概要を説明し、まだ決定前なので、決定したら再度ご協力をお願いしたいと申し入れた。ごみ減量について毎月のようにPRしているので、よく理解してくれている。地域柄、建築や警察関係者がおり、テントハウスといえども建築確認を取っておかないと立ち往生する事になりそうである。

## 3. 11/15議員諸氏への進捗説明会の打合せ

- 大橋氏がその後の進捗について説明する。
- 桐生より資料「燃やすごみは5000ト」を配布、説明した。小金井市が公表するH20年度燃やすごみ16,000ト、内生ごみ6,000トは、生ごみを分別収集すれば「生ごみ11,000ト」「その他ごみ5,000ト」となる。「燃やすごみ」とは事実上「生ごみ」のことであり、「生ごみをHDM処理すれば、燃やすごみは5,000ト」にまで激減することを説明。計画の前提条件が大きく変わる。11/15の進捗説明会に資料として出すことに決定。（加藤氏の指摘を受け、表3の数字を補正済）



## 4. その他の事項

- 小金井市が多摩川衛生組合に加盟する流れはそう単純なものではないとの議論があった。（野見山、加藤、平林）
- 多摩川衛生組合の見学会を11/19 11:00で申し込む。（加藤）
- 11/22(月)に「ごみ問題調査等特別委員会」があるから、できるだけ多くの人たちで傍聴して欲しい。（大

橋)

●「きらめきひらめき環境祭」11/10に学芸大に行って展示物の具体的設置を検討する。(杉本)

(1) 11月15日(月) 議員諸氏への「HDM実証試験推進状況報告会」／公民館本町分館集会室／15:00

(2) 12月 6日(月) 次回打合せ／ウエスト／10:00~12:00

以

上